



本の未来

企画:日本ペンクラブ言論表現委員会、日本ペンクラブ電子文藝館委員会

9月29日(水) | 13:30—15:30 | 早稲田大学 小野梓記念講堂 | 東京メトロ東西線早稲田駅下車徒歩5分 | 入場無料
都営バス早大正門バス停下車1分(高田馬場発) | 開場30分前

概要

アマゾン、アップル、グーグルなど米国系の大手グローバル企業の参入により、にわかに電子書籍が脚光を浴び、市場も活況を呈してきた。新しい表現、新しい市場の可能性を予感させる一方で、出版コンテンツのデジタル化、ネットワーク化によって、解決すべき課題も顕在化してきている。本大会の統一テーマ「環境と文学」を考えるうえで、文学を取り巻く最大の環境変化ともいえる「デジタル・ネットワーク化」を正面から考えるのが、このシンポジウムの

狙いである。本のデジタル化・ネットワーク化は、文学やマンガなど従来の紙のうえでの表現や表現者にどのような影響を与えるのか、出版形態や出版産業はどのように変わっていくのか。情報が錯綜する電子書籍や電子出版について整理したうえで、作家、出版事業者、配信事業者、端末メーカーなど立場の異なるパネリストをお迎えし、それぞれの立場から〈本の未来〉について議論する。

報告① 日本ペンクラブの取り組み——電子文藝館の活動

報告② グーグル的世界のもたらしたもの | 斎藤康弘(米NY州弁護士、グーグルブック検索訴訟・日本ペンクラブ代理人)

報告③ 電子書籍の歴史的経緯と現状 | 植村八潮(日本出版学会副会長)

メイン・シンポジウム「本の未来」

パネリスト

- 武田徹(ジャーナリスト・評論家・恵泉女学園大学教授)
- 野口不二夫(米国ソニー・エレクトロニクス シニア・バイス・プレジデント)
- 野間省伸(日本電子書籍出版社協会 代表理事、講談社副社長)
- 松本侑子(作家・翻訳家、日本ペンクラブ常務理事)
- 渡部一文(アマゾンジャパン バイスプレジデント・メディア事業部門長)

助言者

斎藤康弘 / 植村八潮

コーディネーター

山田健太(日本ペンクラブ言論表現委員会委員長)

(敬称略、50音順)

事前登録票

インターネット登録が便利です。「日本ペンクラブ」を検索し、該当項目から事前登録画面を開けます。

<http://www.japanpen.or.jp/convention2010/>

ファックスの場合は、末尾にお名前とご連絡先のFAX番号等をご記入の上、次の番号に送信してください。

FAX 03-3508-1710 ※FAXによる申込期限:9月15日(水)

※プログラムごとに事前登録された方が優先です。登録希望者多数の場合は申込み順となります。定員に限りがありますので、確実にご入場いただくために、事前登録をおすすめいたします。
※ご友人・家族などと一緒にファックス登録される場合は、この面をコピーし、お一人ずつご登録ください。

フリガナ					
お名前	TEL	—	—	FAX	—



日本ペンクラブ「電子文藝館」

http://www.bungeikan.jp

日本ペンクラブ会員の作品と、
先人の優れた作品860編を掲載

「国際電子文藝館」では日本文学の
英訳作品を中心に紹介

国際ペン東京大会を記念し、
使いやすく検索機能も充実し、リニューアル

① 「電子文藝館」とは

日本ペンクラブは、インターネット時代の文学状況の変化を見通し、電子文藝館を2001年11月26日の「ペンの日」に創設しました。掲載作品は、会員・物故会員のほかに、幕末・明治維新から、現在までの日本近代文学の軌跡を鳥瞰できるように、1935年の日本ペンクラブ創立以前の先人たちの優れた作品もあわせて、積極的に掲載しています。これまでの、およそ860作品を掲載しています。掲載作品は、著作権の権利者か、権利継承者の掲載許諾を得て、無料で公開しています。

② 国際ペン東京大会開催記念に 国際版電子文藝館開館

第76回国際ペン大会が、四半世紀ぶりに東京で開催されることから、その記念事業として、国際版電子文藝館を開館することになりました。この国際版電子文藝館には、日本文学の英訳作品などを積極的に掲載し、世界各国・各地域へ向けて、インターネットを活用して、日本文学を発信します。

③ 国際ペン東京大会と電子文藝館

国際ペン東京大会を契機に、使いやすく検索機能も充実し、リニューアルを行ないました。今後数年をかけて、さらに作品を加え、内容を充実させるとともに、電子書籍の波のなかでも、使える電子文藝館を目指して改良を重ねる予定です。

- 電子文藝館は日本ペンクラブ「電子文藝館委員会」により、運営されています。
- 電子文藝館委員はボランティアで、原文の電子文書化にともなう校正等の作業を行なっています。
- 「電子文藝館」は日本ペンクラブのホームページ
<http://www.japanpen.or.jp>からもアクセスできます。

